

## RoootS先行導入に関するQ&A

1 7月16日(火)を先行導入日としたのはなぜですか。

RoootSのシステム開発の状況や、現行システムからの円滑なデータ移行など、先行導入府において安定的にRoootSに移行させ、稼動を始めることが可能な時期として先行導入日を決定しました。

2 全府導入は来年1月頃を目指すとのことです、延期する可能性はないのですか。

全府導入の時期についてはまだ正式決定はしていないので、あくまで目標ということになりますが、来年1月頃に全府導入ができるように、準備を進めていく予定です。

3 RoootSの全府導入日はいつ決定しますか。

決定時期についても今後検討していきます。決定次第すみやかにお知らせする予定です。

4 RoootSの特徴やMINTAS等の現行システムと比較して優れた部分はどのような点ですか。

RoootSは、現在使用しているMINTAS等の現行システムをベースに新規開発して使いやすさに配慮した点が基本的な特徴であり、現行システムと比較して事務の合理化・効率化に役立つ点として、例えば、  
[REDACTED]  
[REDACTED]

などの機能を備えています。

なお、RootSは、フェーズ3においてはTreeeSと連携させる予定で、現在TreeeS開発とともに連携改修を進めています。

5 RootSとMINTASなどの現行システムを並行稼働させる期間は設けられますか。

並行稼働期間を設けることでRoootSと現行システムにおいて重複する作業が生じることも考えられたため、並行稼働する期間は設けないこととしました。したがって、先行導入日からは、RoootSのみを用いて業務を行うことになります。ただし、現行システムに関しては、参照のみをすることができる環境として当面は利用することが可能です。

6 RootSの操作で疑問が生じた場合はどこに聞いたらいですか。

RootS上の問い合わせフォームを利用して質問してもらうことが可能です。

7 先行導入府においては、職員の習熟のためにどのようなことが行われていますか。

最高裁が提供した教材などを用いて各庁で研修を実施するほか、操作マニュアル、ハンドブックなどの資料も準備しています。また、それらの資料を用いて職員が実際にRootSを操作することができる自習環境も用意しています。

8 RootS全庁導入の際は、職員の習熟のためにどのようなことを行う予定ですか。

基本的には先行導入府で実施したことと同じですが、先行導入での経験を踏まえつつ効果的な習熟の在り方を検討していきたいと考えています。今回、RootSの実際の操作を紹介する動画をcourtsポータルにアップします。こちらの動画は、短い時間で視聴できるように、業務の場面ごとに区切っているので、まだRootSに触れることができない府の職員も、この動画を見てもらうことでのRootSの実際の画面や操作イメージをつかむことができます。

9 全庁導入に向けた説明会や研修はいつ頃から行うことを予定していますか。

現在検討中ですが、習熟のための期間を十分確保できるように実施したいと考えています。

10 全庁導入に向けた作業としては、研修以外にどのような作業が予定されていますか。またどのくらいの作業量がありますか。

MINTASなどの現行システムのデータをRootSに移行する必要があり、移行に当たっては、現在利用しているデータをRootSに適合する形に修正するなどの一定の作業が必要となります。作業量は府規模によっても異なりますし、複数の職員で分担して行うことのできる作業も多いですが、あくまで机上の計算として、1人すべての作業を行うと仮定した場合には、現時点では、RootS導入の前後を通じて1府あたり7~10日程度の作業量ではないかと考えています。

11 これまでシステムに関して職員からの要望が強かった点のうち、RootSで実現できなかったことはありますか。

現時点で実現できていないことは、いくつかあります。今なお業者との間で検討を進めているものもありますが（技術的な可能性を見極めている段階ですので、必ず実現することをお約束できるものではありません。）、運用上の検討、工夫が必要になります。

#### 11-2 具体的にはどういったものですか。

例えば、① 従前から、横スクロールをしないで済むようにしてほしいという要望があったと思いますが、その点については実現ができていません。これは、なるべく画面遷移をせずに一つの画面で処理を完結できるようにしてほしいという要望を踏まえて、同一画面で表示・処理できる項目を大幅に増やしたことに伴うものですが、大型のディスプレイを利用したり、表示させるサイズを小さめにしたり、表示させる項目を絞り込むなどしてスクロールする範囲を狭めたりすることで、一定程度は解消することが可能です。また、例えば事件番号等の特定の列を固定することで、入力対象となる行を把握しやすくてできないかについても、業者との間で検討を進めています。

また、[REDACTED]

[REDACTED] を活用することは可能です。この点も、[REDACTED]  
[REDACTED] を業者との間で検討しています。

なお、このほか、RooootSに登録されている標準帳票に関しては、MINTASのカスタマイズ帳票とは異なり、カスタマイズすることはできません。この点は、使いにくいというご意見も聞いていますが、RooootS内の標準帳票をそのまま利用することで、事務を標準化・合理化することを念頭に置いたものです。

#### 12 全庁導入までの間に、RooootSを改修することは予定していますか。

まだ先行導入が始まっていないので具体的なことはお伝えできませんが、これまでの開発の経験からは、システムの改修には思わぬバグの発生というリスクがあり、

これを軽視してはいけないということを学んできたところです。全庁導入に向けては、RoootSの安定稼働を最優先にすべきであり、まずはバグの修正を優先したいと考えています。全庁での安定稼働が確保された後、どの程度の改修が可能になるかということについては、改修項目とその効果やシステムに与える影響、他のシステム開発の状況などを総合的に、かつ慎重に見極めて、改修の可否を検討していきたいと考えています。

13 今後のTreeeS導入までのスケジュールを教えてください。

今後、隨時説明できる段階になったら説明をする予定です。